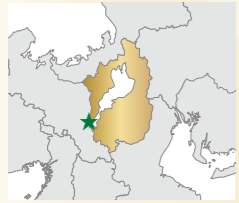


優秀賞

# 大津市消防局×東レアローズ滋賀 感震ブレーカーで火災防止をPR!



## 滋賀県 大津市消防局

事例類型	VI 広報活動
取組期間	令和7年9月から

### ● 背景

令和6年能登半島地震により輪島市で発生した大規模火災を受け、消防庁において開催された「輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」で大規模地震時の電気火災対策として感震ブレーカーの普及促進が必要であると提言がなされた。

本市においても地震時における出火・延焼危険が高いとされる木造密集市街地を有しており、感震ブレーカーの普及促進は喫緊の課題である。

しかしながら、感震ブレーカーについてはその認知度が低く、まずは通電火災の危険性にあわせて、市民にその有効性について周知する効果的な方策が必要である。

### ● 内容

大津市をホームタウンとする地域住民に愛されるプロバレーボールチーム「東レアローズ滋賀」と大津市公式マスコットキャラクター「おおつ光ルくん」を起用し防災情報のエンターテインメント化を図り、幅広い層に対し自分事として捉えてもらうために感震ブレーカー普及啓発動画を作成した。

本動画は、市民のリアルな心理に寄り添うストーリーで構成し、導入で東レアローズ滋賀の選手達が練習中に地震が発生し停電。リスクの提示として、電気の復旧とともにおおつ光ルくんが登場し通電火災事例を紹介し避難時のブレーカー遮断やコンセントを抜くことの必要性を伝える。選手が「避難時にそんな余裕はない」との本音を漏らすシーンで、できないことへの共感により感震ブレーカーの必要性へとつなげる。解決策として、揺れを感知して自動で電気を遮断する感震ブレーカーを紹介し、通電火災の有効な対策であることを提示する。結びにチームの象徴である円陣の掛け声をアレンジし、全員で「GO! 消防局!」と強く宣言。大津市消防局ホームページへの誘導テロップを指差しアクションを締めくくすることで、ファン層へ強く印象を残すと同時に消防局HPへのアクセスを強力に促す内容で編集した。



地震発生→停電→復旧→通電火災のリスク→解決策としての感震ブレーカーという一連の流れを短時間で完結しつつ、東レアローズ滋賀の選手やおおつ光ルくんを強調しながら、防災への関心の入口を広げつつ視覚的にわかりやすい内容とした。



YouTube



Instagram

### ● 成果

プロスポーツのトップチームとご当地キャラクターのコラボにより防災情報を発信したことで、消防局公式Instagramにて配信開始からわずか一週間で10,000回再生を突破した。これは、従来の消防局アカウントにおける平均再生回数を大きく上回る数字となった。

また、行政のフォロワー外へ情報が波及し、従来の広報手段では届かなかった若年層やスポーツファン層への情報を届けることができ、配信後、動画を見た市民から感震ブレーカーの設置方法や購入方法についての問い合わせが増加した。

行政単独の広報には限界があるなかでの今回の取組で、堅苦しくなりがちな火災予防啓発を地域資源である地元のスポーツチームと大津市公式マスコットキャラクターが防災という共通の目的でタグを組むことで、見となるコンテンツへ昇華させ、また、多額の広告費を投じることなくコラボレーション力で高いパフォーマンスを実現することができた。

本事例は、官民が手を取り合い地域に密着した演出をすることで、大津市民にとって自分たちの街の課題として認識してもらえたことは、地域資源を最大限に活用した次世代の予防業務モデルとして高い汎用性と有効性を持つものと確信している。

### ● 特記事項

今後もスポーツチームなど各種団体と大津市のマスコットキャラクターのコラボにより幅広い世代へ情報発信し新たな防火広報の取組を展開する。